平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	航空電子機械工学特別演習Ⅰ (Aeronautical, Electronic &Mechanical Engineering Seminar Ⅰ)			授業コード	M002409
担当教員名	若林 大輔			科目ナンバリングコード	M20301
配当学年	1	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	特別研究を遂行するための具体的手法の習熟を目的とする科目です。				
受講心得	英語(文法、読解、ライティング、会話)とパソコンによる文書作成、表計算、スライド作成、プログラミングの技術を授業時間外で習得するよう努力してください。				
教科書	なし。				
参考文献及び指定図書	受講者の自発的な要望に対し、適宜紹介します。				
関連科目	電気回路、電磁気学、電磁気学特論A、電磁気学特論B				

授業の目的	研究活動に必要な知識、技術を習得します。
授業の概要	授業の進め方は、回毎にテーマを設定し、その内容に関する文献を調査してもらい、その内容についてプレゼンテーション形式で発表してもらいます。学生自らによる発表と内容に関する議論、また、その内容に関する実験を行うことで理解度の確認と向上を行います。 若林研究室で深く関係する以下の項目を重点に演習形式で学びます。 【航空電子機械工学特別演習Ⅰ】 ・磁気計測に関する知識、技術 ・磁気特性評価に関する知識、技術 【航空電子機械工学特別演習Ⅱ】 ・磁気特性解析に関する知識、技術 ・電気機器設計に関する知識、技術

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : ガイダンス	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 2 週 : 磁気計測に関する知識、技術①	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 3 週 : 磁気計測に関する知識、技術②	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 4 週 : 磁気計測に関する知識、技術③	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 5 週 : 磁気計測に関する知識、技術④	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 6 週 : 磁気計測に関する知識、技術⑤	各種文献調査 プレゼンテーション準備

第 7 週 ： 磁気計測に関する知識、技術⑥	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 8 週 ： プレゼンテーション① 第2週から第7週までの内容確認	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 9 週 ： 磁気特性評価に関する知識、技術①	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 10 週 ： 磁気特性評価に関する知識、技術②	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 11 週 ： 磁気特性評価に関する知識、技術③	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 12 週 ： 磁気特性評価に関する知識、技術④	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 13 週 ： 磁気特性評価に関する知識、技術⑤	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 14 週 ： 磁気特性評価に関する知識、技術⑥	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 15 週 ： プレゼンテーション② 第9週から第14週までの内容確認	各種文献調査 プレゼンテーション準備
第 16 週 ：	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	文献を調査し、概要をつかみ、期日までにプレゼンテーションの準備を行うことができる。
【知識・理解】	各種知識と技術を理解し、説明することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	適切な説明文、図表を用いるなど分かりやすいプレゼンテーションの資料を作成、また発表を行うことができる。
【思考・判断・創造】	該当無し。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 （テスト）	レポート・作品等 （提出物）	発表・その他 （無形成果）	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	**0点**	**0点**	**30点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**0点**	**0点**	**20点**
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**0点**	**0点**	**50点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**0点**	**0点**	**0点**

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	該当無し。
発表・その他（無形成果）	・プレゼンテーションの資料の内容で評価します。与えられた文献にとどまらず、関連する文献も含め、適切な説明文、図表を用いるなど分かりやすいプレゼンテーションを心がけているか。） ・プレゼンテーションの内容を理解しているかを評価します。（質疑応答の時間を設け、内容についての理解度を評価する。）